

竹取新聞

皆で創る

新年度から沖縄県名護市に、なごうら保育園が開園しました。昨年4月から園長先生やスタッフメンバーが集まり、準備室が開設されていました。一年間皆で、県内の園に見学に行ったり、東京のセミナーに足を運び、「何を大事に保育を行っていくか」話し合いを重ねてされました。そして、全員の「大人目線ではなく、子どもの最善の利益のために保育をしていきたい」という思いから、新しい園では、「一人ひとりの発達に合わせて保育をしていく」と決意されたそうです。



新築の園舎に…どんな物語が繰がれていくか、楽しみですね!

新年度から沖縄県名護市に、なごうら保育園が開園しました。昨年4月から園長先生やスタッフメンバーが集まり、準備室が開設されていました。一年間皆で、県内の園に見学に行ったり、東京のセミナーに足を運び、「何を大事に保育を行っていくか」話し合いを重ねてされました。そして、全員の「大人目線ではなく、子どもの最善の利益のために保育をしていきたい」という思いから、新しい園では、「一人ひとりの発達に合わせて保育をしていく」と決意されたそうです。

保育環境や保育書類も自分たちが目指す保育に合ったものを検討していく中で、最初は、書類簡素化のための業務ソフトを探していたそうですが。しかし、「子どものためになっているか」「保育に活きた書類になっているか」と考えて

いくうちに、「一人ひとりの発達を保障していくために、発達の連続性がわかるソフトがいい」ということで、このたび『ミマモリングソフト』の導入を決められたそうです。

先月に行つた導入研修では、園長先生から皆で一人ひとりの発達について深めていくべき話題がありました。

様々な思案し、行動しながら、皆で気持ちを一つにし、大事にしたいことを握り合う先生方のお姿。「大事なもの」を皆で守り、今を創つていることを感じさせて頂いています。

いくうちに、「一人ひとりの発達を保障していくために、発達の連続性がわかるソフトがいい」ということで、このたび『ミマモリングソフト』の導入を決められたそうです。

先月に行つた導入研修では、園長先生から皆で一人ひとりの発達について深めていくべき話題がありました。

園の理念は「関わる人々の人格が磨かれていく関係性を創造し、善い社会を創る」といふもの。世の中を震撼させた数多くの事件にショックを受け「子どもが残虐な事件を起こすような社会を創りたくない!」という決意のもと保育園を立ち上げた岩本園長の初心がそこにあり、子どもたちへの強い想いが込められています。

【ミッションページ】(※)
園の大切なものを守り続ける為に理念を発信・浸透する仕組みとしてホームページを利用する方法です。

園の取り組みは全てこの理

念や初心から始まっている訳

ですが、先生方がその理念か

らの実践を本当に大切にされ

ていることを今回の訪問時に

実感しました。例えば、園に着

いた時のこと。お茶室へと案内

され、なんと茶道(小笠原流煎茶)のおもてなしを受けるこ

とを感心させて頂いています。

園の取り組みは全てこの理

念や初心から始まっている訳

ですが、先生方がその理念か

らの実践を本当に大切にされ

ていることを今回の訪問時に

実感しました。例えば、園に着

いた時のこと。お茶室へと案内

され、なんと茶道(小笠原流煎茶)のおもてなしを受けるこ

とを感心させて頂いています。

玄関に理念が飾られ、いつでも「ありがとう」の想いを目にすることが出来ます。

職員5、6名が集まり昼礼を行いました。

その理由について仲田先生にお聞きすると、「うちの園の理念は、ありがとうございます!だから」と仰いました。私たちも理念から実践をし、振り返ることを大事にしているため、仲田先生のその言葉に職員皆さんと理念を実践されている重みを感じました。先生方の「あ

とに!その日は朝早くからの移動だったため、研修前にこの様なゆったりとした時間を用意してくださったことが本当に嬉しく温かな気持ちになりました。研修後には、園で子どもたちが漬けた梅干しやラシキョウのお土産までいただき、「そんな一つひとつのがはいけない心配りからは、まさに園の理念が実践を通して守られていることを感じました。

これから先生方がどんな時も初心のままに働けるよう、日々の保育を理念から振り返りブログを綴つていく実践が始まります。善い社会を創るために新たな実践、私たちも楽しみにしています。

その理由について仲田先生にお聞きすると、「うちの園の理念は、ありがとうございます!だから」と仰いました。私たちも理念から実践をし、振り返ることを大事にしているため、仲田先生のその言葉に職員皆さんと理念を実践している重みを感じました。先生方の「あ



玄関に理念が飾られ、いつでも「ありがとう」の想いを目にすることが出来ます。



職員5、6名が集まり昼礼を行いました。

初心からの働き

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館1階



第93版

理念と実践で
絆を結びます

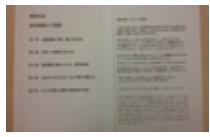
平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願ひいたします。

「ありがとう」が響く園

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース



「カグヤ 防災鉄則5箇条」から
大事なことを握り合います。



釜石の防災教育から、残して
いきたい防災を学びました。

大切なことを忘れない

3月11日、あの日を境に自分たちで
決めた「復興支援」。それは今の暮らし
のままに備蓄をしたり、避難訓練をす
るのでなく、自然から学び、先人から
学び、どうやって天災に向き合っていく
のかを真剣に考え、自分たちの暮らし
を立て直すということ。子どもたちに遺
していく生き方を震災をきっかけ

に学んでいくということ。そんな「大切
なことを忘れないDAY」と名付けた
毎年のこの日。今年はクルーみんなで
「震災」というその脅威と事実を「直視」
し、子どもたちに残していく「防災
の本質」とは何かを釜石の防災教育か
ら学びました。「人災」は自分たちの生
き方を変えしていくことで未来を変える
ことが出来るかもしれません。

改めて感じるのは自分自身の危機感
というものが、今の家族や子どもたちを
取り巻く環境を構成しているという事
実です。子どもたちと一緒に今やれる最
善は何だろうか。毎年のこの日から学
び、行動と文化に変えていきたいと思
います。

濃霧で着陸失敗。64人が犠牲になった。その事故
の直前、ハワイから飛んできた日航機が二度の着
陸を試みるも断念して福岡へ向かった。ハワイか
ら8時間もかかって羽田まで来たにもかかわら
ず、羽田空港でカナダの旅客機が

「1966年羽田空港でカナダの旅客機が
墜落した」という記述が載っています。

今年もご覧頂きありがとうございました。
年度替わりでお忙しいことと存じますが、皆
様お身体にお気をつけてお過ごしください。

編集後記

※カグヤでは、クルー同士別々の場所にいても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。



【アクティビティ】
会議や対話の前に、協力を促す簡単な遊びを取り入れています。



先月の初心会議では、私たちも皆で「ほうれん草ゲーム」を!



自分の「やりたい!」の気持ちが周りをアクティブにしています。

研修時など、園の先生方も一緒にアクティビティを楽しんでいます。

この紙面でも何度かご紹介している、
私たちが毎朝行っている「円対話」で
すが、昨年からある高校の生徒たちが
取り組んでくれています。先日、そのレ
クチャーをしに伺った際、彼らの姿に驚
かされました。『円対話』では、楽しい雰囲気や心をオープンにする場づくりのため、最初に簡単なアクテ
ィビティを行いますが、今まではそれを
カグヤから指定していました。ところ
が、先日の訪問では、「円対話」を終え
たあるグループの高校生たちが次のア

クティビティでは、ほうれん草ゲームを
やるよ!」と言い出し、突然その場で
楽しそうにそれをやり始めたのでした。
私たちも日頃社内で行う「円対話」
であるクルーが急に「やりたいアクテ
ィビティがあるんだよね!」と言いました。
体感が生まれたことがあったので、高校
生たちのその行動がとても自然に見え
たことがあります。そんな時ほど不思議な
ことでした。

アクティビティあつてのアクティビ
ティであることを、私たちも改めて大事
にしていきたいと思います。

アクティビティな姿勢

先月は季節の変わり目だからか、社
内でも体調不良者が数名いたのですが、
そんな時には、代わりに別のクルーがお
客様への訪問をしたり、出張に行ったり
と「代打」として活躍する姿が!

日々の暮らし方や働き方などを見直
して、病気にならないように気を付ける
ことも大事ですが、体調を崩すことも
悪いことではなく、ある意味では自然な
こと。「無理して会社に行かなければ」
ではなく、むしろ「いつでも代われる、休
む」と代わる組織を目指していきたいです。



【お祝いの室礼】
おかげさまさまで、カグヤも設立15周年!
日頃から安心の関係を社内外で大事にして
いたたらと思います。

安心した働き方

める「ような、安心して働ける環境」関
係を日頃からつくっておくことが大事
だと感じました。なかなか理想的にはい
きませんが、子どもたちのモデルになる
ように「無理して頑張る、頑張らせる」
のではなく、「安心して頼める、任せても
らう組織を目指していきたいです。

一期一会庵

「勇気」

カグヤの理念実践の一つに「大切なことを忘
れないDAY」というものがあります。これは
長い目で観た時に子どもたちが将来出会うで
ある災害や震災のためにも自分たちがどう
乗り越えたかというお手本を遺せるようにと
はじめたものです。そのため作成したカグヤ
防災鉄則5箇条というものがあります。

「第一回 危機意識の欠如、備えを怠るな
第2回 自然の畏敬を忘れるな
第3回 固定概念に縛られるな、最善を盡せ
第4回 自分の命を守つながら他人を助けよ
第5回 ピンチの時には野牛の歯を取り戻せ」

勇気とは決して野蛮な勢いで行うものでは
なく、自分の弱さと正面から向き合つてはじめ
て人は本物の勇気を持つことができるよう
私は思います。引き続き子どもたちのために
も、この先に発生する想定外に備えて理念や
初心をいつまでも忘れないように実践と実績
を積み上げていきたいと思います。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)